

第43期中間株主通信

平成21年4月1日から
平成21年9月30日まで

株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.consec.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ホームページアドレス <http://www.consec.co.jp>

CONSEC 株式会社コンセック

時代のニーズに応える技術で 次世代の世界へ飛翔します。

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結財務情報	3
トピックス	5
会社の概況	6

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第43期第2四半期における事業の概況につきましてご報告を申し上げます。

当第2四半期におけるわが国の経済は、急激な円高など為替市場が大きく変動する中、中国などアジアの一部の国を除いて世界の経済情勢は混迷したため、業種を問わず企業収益が急速に悪化し、生産調整や設備投資の減退が顕著になり、景気は大きく後退したままに推移しました。失業率もより一層悪化し雇用不安が増大するなど個人消費も冷え込みました。当社主力先の土木建設業界においても新規の建設着工件数が前年を大きく割りこみ、依然として厳しい環境が続きました。

このような環境の中、当社グループの切削機具事業では耐震対策のマンホール消散弁や乾式コアドリル等の新規開発商品が徐々に浸透し始めたものの工事全体需要が減少したまま依然として回復せず、ビット、ブレード等の消耗品、機械製品とも売上が減少しました。特殊工事業では学校・橋などの耐震補強工事、高炉解体などの切断工事の受注は順調に推移しましたが、新築ビル、マンション等の建設が落込み、アンカー・ボンド工事の低下により全体売上はやや減少しました。建設・生活関連品事業では景気対策の電化製品などエコポイント還元商材や低価格商品などが注目されたものの、新規住宅設備が低調で一般建設材料や機械工具・住宅関連品の売上は減少しました。工場設備関連事業では提案営業強化によって販路を拡大し真空加熱炉の受注によりほぼ前年並みの売上となりました。その他の事業においてはIT関連の設備投資が鈍化し売上減少となりましたが、8月に東京地区でのIT関連企業の営業譲受に伴い、新事務所移転とともに事業拡大を図りました。また介護事業においては新規事業所の地域での認知度を高め、営業強化を図りほぼ前年並みの売上となりました。

その結果、当第2四半期の連結業績は、売上高35億96百万円（前年同期比17.7%減）、営業利益は△2億17百万円（前年同期は△99百万円）となりました。また経常利益は△1億66百万円（前年同期は△70百万円）となり、第2四半期純利益は、△2億39百万円（前年同期は△2億12百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりです。

(単位：千円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減率(%)
売上高	3,595,784	4,371,097	△ 17.7
営業利益	△216,532	△ 99,363	—
経常利益	△166,418	△ 69,629	—
四半期純利益	△238,530	△212,173	—

(注) 千円未満の金額は、四捨五入で表示しております。

当第2四半期連結累計期間における事業区分別の売上高は次のとおりです。

(単位：千円)

事業区分	当第2四半期		前第2四半期		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
切削機具事業	1,156,422	32.1	1,471,648	33.7	△ 315,226	△21.4
特殊工事業	582,306	16.2	628,847	14.4	△ 46,540	△ 7.4
建設・生活関連品事業	1,257,155	35.0	1,665,243	38.1	△ 408,088	△24.5
工場設備関連事業	284,720	7.9	287,884	6.6	△ 3,164	△ 1.1
その他の事業	315,182	8.8	317,476	7.2	△ 2,294	△ 0.7
合計	3,595,784	100.0	4,371,097	100.0	△ 775,313	△17.7

(注1) 上記金額は外部顧客に対する売上高であり、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

(注2) 前連結会計年度において、事業の種類別セグメントを変更したため「工場設備関連事業」を「その他の事業」から独立掲記しております。
なお、前年同期比較にあたっては前第2四半期連結累計期間分を変更後の区分に組み替えて行っております。

(注3) 千円未満の金額は、四捨五入で表示しております。

株主の皆様のご支援にお応えすべく鋭意努力してまいりましたが、左記の決算状況により誠に不本意ながら中間配当については、前回と同様に実施を見送らせて頂きたいと存じます。

通期の見通しにつきましては、主力とする土木建設関連分野においては政府の住宅促進政策や建設投資政策が期待されるものの、早期回復には時間を要すると見込まれることから、安定需要の見込める耐震補強工事分野をさらに強化し、独自製品の業界への浸透を図り、受注獲得に全力を挙げてまいります。その他の事業につきましては本年11月高齢者賃貸住宅（広島市南区）を新規開設しました介護事業、および東京拠点の事業倍加が見込めるソフト開発事業は、概ね順調に拡大すると見込んでおります。今後も景気回復は厳しい環境にある事を踏まえより一層の販売費及び一般管理費の圧縮、削減を推進し、早期の業績回復に全力で邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成21年12月



代表取締役社長

佐々木秀隆

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成21年9月30日現在)	前第2四半期 (平成20年9月30日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)				
流動資産		4,278	5,150	4,801
固定資産		6,447	6,554	6,389
資産合計		10,725	11,703	11,190
(負債の部)				
流動負債		2,423	3,159	2,674
固定負債		1,052	683	1,067
負債合計		3,475	3,843	3,741
(純資産の部)				
株主資本		7,215	7,826	7,454
資本金		4,090	4,090	4,090
資本剰余金		3,423	3,965	3,965
利益剰余金		△ 244	△ 176	△ 548
自己株式		△ 54	△ 54	△ 54
評価・換算差額等		△ 58	△ 71	△ 103
その他有価証券評価差額金		△ 54	△ 76	△ 93
為替換算調整勘定		△ 4	5	△ 10
少数株主持分		93	106	98
純資産合計		7,250	7,861	7,449
負債及び純資産合計		10,725	11,703	11,190

(注) 百万円未満の金額については四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期(累計) (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高		3,596	4,371	8,793
売上原価		2,825	3,438	6,851
売上総利益		771	933	1,942
販売費及び一般管理費		988	1,032	2,027
営業利益		△ 217	△ 99	△ 85
営業外収益		61	44	60
営業外費用		11	15	76
経常利益		△ 166	△ 70	△ 101
特別利益		0	1	1
特別損失		7	233	401
税金等調整前四半期(当期)純利益		△ 173	△ 302	△ 502
法人税、住民税及び事業税		19	23	46
法人税等調整額		45	△ 115	29
少数株主利益		1	3	7
四半期(当期)純利益		△ 239	△ 212	△ 584

(注) 百万円未満の金額については四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期(累計) (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		198	△ 18	△ 179
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 117	△ 40	△ 177
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 6	168	401
現金及び現金同等物に係る換算差額		3	1	△ 11
現金及び現金同等物の増減額		79	111	33
現金及び現金同等物の期首残高		767	734	734
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		845	845	767

(注) 百万円未満の金額については四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

乾式コアドリル SPFD-181A2

これまでのダイヤモンドコアドリルは、水を使用して穴あけを行う湿式仕様が主流でしたが、近年、水を使用することが出来ない現場が多くなり、乾式仕様の製品を要望する声が多く寄せられていました。

そこで、当社では長年培った技術を応用発展させた新型機種「乾式コアドリル SPFD-181A2」を開発し発売いたしました。

この機種は、乾式穴あけ専用設計されたもので、集塵機と接続して使用します。穴あけ時に発生する「切り粉」をコアビットの内側から吸引する方式を採用したことにより、粉塵が周囲に飛散することなく回収できます。

また、集塵機と接続する箇所透明集塵ノズルを採用しているため「切り粉」の吸引状態を確認しながら作業を行えるのも、特長の一つです。

乾式コアビットについても、新開発したダイヤモンドチップを採用し、湿式コアビットに匹敵する切削スピードで鉄筋コンクリートに穴あけを行うことが可能となりました。

これからも当社は、作業効率向上や環境問題等に精力的に取り組み新機種を発表・販売してまいります。



■ 会社の概要

商号 株式会社コンセック
 英文名 CONSEC CORPORATION
 設立 昭和42年11月6日
 資本金 40億90百万円
 従業員数 連結：406名 単独：240名
 ホームページ <http://www.consec.co.jp>
 連結子会社 祥建企業股份有限公司(台湾・三重市)
 北斗電気工業株式会社(広島県呉市)
 株式会社サン・ホクト(広島県呉市)
 南通康賽克工程工具有限公司(中国・江蘇省南通市)
 株式会社サンライフ(広島市西区)
 株式会社デンサン(広島市南区)

主な事業内容 当社グループは次の物品の製造および仕入販売、コンクリート特殊工事ならびに不動産施設の賃貸等を行っております。

- 〔切削機具事業〕
穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品、特注機、切削関連機具等
- 〔特殊工事業〕
アンカー工事、コアボーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事、ジベル工事等
- 〔建設・生活関連品事業〕
建設機械・工具、建設資材、住宅・OA機器、生活関連機器等、不動産施設賃貸
- 〔工場設備関連事業〕
自動制御盤、配電盤、製缶、精密板金加工等
- 〔その他の事業〕
介護サービス、ソフトウェアの受託開発等

■ 株式の状況

発行可能株式総数 28,600,000株
 発行済株式の総数 18,640,112株
 株主数 1,462名
 (前期末比21名減)

■ ネットワーク

本社 広島市西区商工センター四丁目6番8号
 TEL (082) 277-5451
 支店 東京、大阪
 営業所 札幌、仙台、横浜、名古屋、岡山、広島、高松、福岡 他21ヶ所
 工場 広島工場
 物流センター 広島配送センター

■ 役員

代表取締役社長 佐々木 秀 隆
 取締役 吉 本 文 雄
 取締役 千 田 稔
 取締役 福 田 多喜二
 取締役 原 田 文 栄
 取締役 三 中 達 雄
 常勤監査役 國 本 純 男
 監査役 加 藤 公 敏
 監査役 廣 本 邦 幸